

平成30年度 施政方針「住みよさ実感 米原市」の実現に向けて

市長が示した平成30年度施政方針の中から主要事業の概要をお伝えします。市議会第1回定例会において平成30年度予算を承認いただいた後、各種事業を着実に進めていきます。

1 健やかで安心して暮らせる 支え合いのまちづくり(福祉)



新規 時間外(延長)保育事業および一時預かり事業

3つの公立認定こども園において、早朝と夕方の開園時間を拡大させた「延長保育」をモデル的に実施します。また、山東幼稚園と公立認定こども園では、幼稚園籍園児を長期休業期間中に保育できない保護者に対しての一時預かりサービスを始めます。

拡充 地域支え合い「移動・送迎サービス」の推進

車を運転できない人や公共交通を利用しにくい人が病院や買い物に気軽に行けるよう、互助による送迎サービスの推進など、地域の支え合いによる移動支援システムを広めます。

新規 重症心身障がい児者医療移送費を補助

在宅で生活する重症心身障がいの人が医療機関へ通院する際に、民間の救急車を利用した場合の費用を補助し、家族の負担軽減を図ります。

2 とともに学び輝き合う人と文化を 育むまちづくり(教育・人権)

新規 給付型奨学金で若者の未来をサポート

大学等を卒業後、市内に定住する人を対象に奨学金を給付します。若者の夢と希望の実現を応援し、市内への定住促進につなげます。

新規 小学校3年生放課後補充教室「学びっ子」を開設

学習内容で「つまずき」が生まれやすい小学校3年生を対象に放課後補充教室「学びっ子」を開設します。

新規 コミュニティ・スクール制度を導入

中学校3校をコミュニティ・スクール制度のモデル校として、地域と共にある学校づくりを進めます。

拡充 伊吹第1グラウンドを改修

2024年の滋賀国体のホッケー競技会場となる伊吹第1グラウンドを多面的な活用ができる人工芝仕様で改修します。



4 地域の魅力と地の利を生かした 活力創出のまちづくり(産業経済)



新規 水の里の旅サイクリングツアーを開催

夏休みに「水と日本遺産を巡るサイクリングツアー」を催行し、市の魅力を伝えるとともに、交流人口の増加につなげます。

新規 農業の担い手を支援

中小規模農家への機械購入等補助制度と定年帰農者等を担い手に誘導する支援制度を創設します。

拡充 就労支援事業

市内企業へのインターンシップ受入事業を実施し、若者のUJターンを促進します。

5 心地よく暮らせるにぎわいと交流を 支えるまちづくり(都市基盤)

拡充 総合的空家対策の推進

倒壊、崩壊など市民の生命や財産を脅かす危険な空家の除却工事を実施するとともに、除却補助金を新設します。

新規 びわ湖の素・米原 住宅リフォーム補助金

若者(子育て世帯)を中心とした市民と移住希望者に住宅(空家)改修費用の一部を助成します。

拡充 シティセールス 大都市圏プロモーション

首都圏でのPRイベントと、市を訪れて体感してもらうツアーを組み合わせるなど、「ココチよい暮らし」を発信し、新しい人の流れを創出します。



3 水清く緑あふれる自然と共生する 安全なまちづくり(環境・防災)

新規 市道箕浦碓線交差点 ラウンドアバウト化事業

事故の減少に有効とされる環状交差点「ラウンドアバウト方式」に改良し、交差点を通る児童や生徒、地域のみなさんの安全確保を図ります。



地域防災力の強化

実践的な市総合防災訓練を実施するほか、防災リーダーの育成、消防班への可搬式ポンプ積載車の配備支援など、防災体制の強化を進めます。

6 まちづくりを進めるための基盤 (都市経営)



拡充 「まちづくり委員会」設置等の支援

まちづくり委員会の組織化や、まちづくり委員会が行う地域課題の解決に向けた取り組みに対して、補助金制度を新設します。

新規 (仮称) 原子力防災を考える市民委員会の設置

原子力防災について市民と行政が共に考える場をつくります。

新規 (仮称) 市民とともに創る都市公園市民委員会の設置

市民の希望を叶える新たな公園の在り方を話し合い、米原市のシンボルとなる公園づくりへつなげます。

子ども、女性、
若者、高齢者、
障がい者に
やさしい
まちづくり

暮らしに安心・
地域が元気な
まちづくり

市民のみなさんとの 4つの約束

未来へ、確かな
歩みを始める
まちづくり

市民の声で、
市民とともに築く
まちづくり

私が3期目となる市政の重責を担わせていただいたから、1年がたちました。この間、市民のみなさんと約束した、新たな公共交通システムの導入や若者の定住促進を目的とした給付型奨学金制度の創設などを着実に進めてきました。



市役所の仕事の現場は地域です。地域に出向き、そこで聴く声に寄り添い、ともに考え、進んでいく。その一つ一つを着実に積み重ねてまいります。

また、市民と市民、市民と行政がつながりながら、米原だからこそその取り組みを進めることで、市民のみなさんの幸福感、満足感を高めていきたいと考えています。

平成30年度は、総合計画に掲げる本市の目指すべき将来像「ともしながり とともに創る 住みよさ実感 米原市」を実現していくための6つの基本目標に沿った取り組みを推進していくとともに、市民のみなさんとの4つの約束を重点取組事項としています。

人と地域を大切にすることをまちづくりの中心に置き「住みよさ実感 米原市」の実現に向け、各施策に全力で取り組みます。

米原市長 平尾道雄